



葦建発 第 69 号

平成 19 年 4 月 24 日

国土交通省道路局長 殿

葦崎市長 横内公明



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について（回答）

日ごろより、葦崎市の道路行政に対しまして格別なご理解とご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、先般ご依頼のありました中期的な計画の作成にあたっての意見についてであります。本市は市内を縦断する国道 20 号線と、これに合流する南アルプス市からの国道 52 号線また北杜市からの国道 141 号線の合流地点ともなっており、近年の社会情勢と相俟って自動車交通量が増加の一途をたどっており、慢性的な渋滞が発生しています。

これら道路は本市の中心市街地を通り抜けており、渋滞の緩和を図りスムーズで環境にやさしい市街地を形成するためにも、階層的な道路網の形成を図る事が求められております。

市としては国道 20 号線の渋滞緩和を今後も重視し、バイパス及び国道 141 号線より通ずる道路を七里岩トンネル交差点から釜無川右岸側に延長する等、交通の流れを分散し交通渋滞の緩和、解消を図る道路整備は必須の課題でありますので、今後の計画に於いても特段のご配慮を賜りますよう宜しくお願いをいたすところであります。

次に、山梨県は四方を日本有数の山岳地帯に囲まれ、特に南アルプス一帯の山々は山岳観光が今後益々期待をされており、本年は世界自然遺産に登録し広く世界に PR しようと静岡・山梨・長野県において、推進協議会を設立し南アルプス世界自然遺産登録の第一歩を踏み出したいところであります。

そこで現状の南アルプスへのアクセス道路の状況を見ると、特に南アルプス市の広河原登山口までは甲府駅及び中央道甲府昭和インターより、約 2 時間かけて登山者等が観光に訪れておられる状況であります。

JR 及び中央道等の交通機関を利用した場合を考えても、本市を基点に広河原登山口に最短距離・時間で行けるルートとして、また、景観・自然保護等を考慮しますと、本市登山口でもある甘利山下部からトンネル道路により広河原

登山口まで道路を開けることが、今後南アルプス一帯の山岳観光に最も有利であると構想の位置付けを行いました。

この件についても併せてご配慮賜りますよう宜しくお願いいたします。

尚、渋滞状況等構想ルート、南アルプスへアクセス道路につきましては別添図面をご参照願います。



